

# ふじみサラダボール子育て情報

「成長と知恵」

令和7年1月22日号

板橋富士見幼稚園



## 大人の姿を真似る子ども

3歳児の A 男は、秋の日だまりの中で、園庭の柿を教師と一緒にもぎ取り、喜び勇んで水道に向かいました。そして丁寧に洗って部屋前のテラスに戻り、先生に小さく切ってもらった柿を、次々と頬張り始めました。甘い柿に舌鼓を打つような、満足そうな顔を見せています。私（園長）が「ねえ柿、美味しい？」と聞くと、夢中なのかうなずくだけです。「ねえ、1個ちょうだいよ」と言うと、はじめて言葉で「ダメ」と一言が返ってきました。「じゃあ、いいよ」と私は立ち去り、事務所に戻りました。

それから15分ほど経った頃、ドアをコンコンと戸を叩く音がして、「どうぞ～」と言うと、先ほどテラスで柿を食べていた A 男が入ってきました。手の平にみずみずしい柿の葉を乗せ、更にその上に小さな一切れの柿が乗っていて、「はい」と私に手渡してくれました。私は、驚きを隠せず、思わず「いいの？」聞くと、「うん」と返事をして彼は戻っていったのです。

さて、お気づきでしょうか。この出来事を丁寧に読み解いてみると、彼は、物を差し出すときに、柿の葉をお皿に見立てて用意していることが分かります。これは、この時誰も教えていないことでした。家庭での生活の中で、来客の時に皿に盛られた菓子などを見た体験から、人に差し出す時は、皿にのせて出す という行為を自然と体で学び、自分のお手前（丁寧な所作）としているのです。すごいことです。

これは、子どもが生活で大人のする何気ないことを、常に学び続けているのだと とても関心したエピソードです。

子どもは、食欲に学習しようとしています。2歳を過ぎたら、傍で生活する大人たちも、所作や言葉の遣いには注意したいものですね。

【年末のお餅つき会：<sup>かまど</sup>竈で火を炊き、<sup>せいろ</sup>蒸籠で蒸かしたもち米をつきました。

手で触ったり匂いをかいだり、五感と全身を使って体験を楽しみました】



<年中さんは法被を着てお餅つき

餅になる前のお米はどんな匂い？>

